

## 京都芸術センター 新ディレクターに川崎陽子氏が就任

～ 芸術と社会の関わりについて考える記念イベントも開催 ～

日程：2026年7月11日（土）13:00～

会場：京都芸術センター

京都芸術センター（京都市中京区）は、2026年7月1日付で川崎陽子氏がディレクターに就任することをお知らせします。川崎氏は、京都芸術センターのアートコーディネーターを経て、舞台芸術プロデューサーとして国内外で活動し、現在はKYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭の共同アーティストック・ディレクターを務めています。京都芸術センターは、これまでの歩みを継承しながら、創造の現場と社会をつなぐ活動をさらに展開してまいります。

### 現在進行形の創作の場、そして未来へつながる表現の土壌を育む場として

京都芸術センターは、2000年の開設以来、若い世代をはじめとする多様な芸術活動を支援するとともに、芸術文化に関する情報発信や、市民と芸術家の交流の促進に取り組んできました。開設から26年目を迎えた今も、京都における創作・発表・交流の拠点として、新たな芸術が生まれる場づくりを続けています。

このたび京都芸術センターのディレクターに就任する川崎陽子氏は、2011年から2014年まで京都芸術センターのアートコーディネーターを務めた後、舞台芸術プロデューサーとして国内外で活動し、現在はKYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭の共同アーティストック・ディレクターを務めています。京都芸術センターでの経験を起点に培ってきた実践を生かしながら、現在進行形の創作を支える場として、また多様な人々が出会い、未来へつながる表現の土壌を育む場として、歩みを進めていきます。

また、川崎氏のディレクター就任にあわせて、2026年7月11日（土）に記念イベント『京都芸術センターのこれから～文化拠点としての現在地とその役割～』を開催します。川崎氏とともに、これからの京都芸術センターのあり方や、芸術と社会の関わりについて考える機会とします。当日は、創造連携推進グループ ディレクターの山本麻友美も登壇し、新たな運営体制のもとで京都芸術センターが目指す方向性について語ります。



川崎陽子氏 (photo: Takuya Matsumi)

## 川崎陽子氏 コメント

京都芸術センターは、私にとって文化芸術の創作の現場を教えてくれた場所であり、過去・現在・未来の表現とその表現が生まれる土壌について、つねに思考することの重要性を教えてくれた場所でもあります。開設から26年という時を数えるこのセンターですが、その以前から、そして開設からいままで、地域の方々や多様な背景をもつアーティスト、訪れるの方々など、さまざまな人たちのミーティングポイントとなってきたのではないかと思います。このたびディレクターを拝命し、開かれたミーティングポイントとしての京都芸術センターの歩みを、現在進行形の創作の場として、そして未来へつなげる表現の土壌をつくる場として、このセンターに関わるすべてのみなさまと進めていければと考えています。どうぞ、この歩みを一緒に進めていただければ幸いです。

## イベント概要

名称： 京都芸術センターのこれから ～文化拠点としての現在地とその役割～  
日程： 2026年7月11日（土）13:00～14:00 ※ 開場 12:45  
会場： 京都芸術センター 講堂  
登壇者： 創造連携推進グループ ディレクター 山本 麻友美（モデレーター）  
京都芸術センター ディレクター 川崎 陽子  
料金： 無料  
WEB ページ： <https://www.kac.or.jp/events/20260711/>

## 川崎陽子氏 略歴

株式会社 CAN 勤務を経て、2011-2014 年京都芸術センター アートコーディネーター。2014-2015 年、文化庁新進芸術家海外研修制度によりベルリン HAU Hebbel am Ufer 劇場にて研修。帰国後はフリーランスの舞台芸術プロデューサーとして活動し、ジャンルを横断したプロジェクトの企画・制作を行う。2011 年より KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭に制作として参加、2020 年より共同ディレクターを務め、2025 年より共同アーティストック・ディレクター。令和 5 年度（第 74 回）芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。

## 京都芸術センター

京都芸術センターは、芸術文化の振興を目的に 2000 年 4 月に開設されました。若い世代を含む多様な芸術家の制作支援を軸に、芸術文化に関する情報発信や、芸術家と市民の交流促進に取り組んでいます。芸術家が創作活動を行い、その成果を発表するための制作室の提供をはじめ、展覧会、演劇、ダンス、音楽、伝統芸能などの公演やワークショップを実施。芸術家の発掘・育成や伝統芸能の継承、国内外の芸術家を受け入れるアーティスト・イン・レジデンス事業にも力を注いでいます。これらの活動を通じ、京都における都市文化創造の拠点として、芸術の新たな価値を社会に開く場づくりを進めています。

<本件に関するメディアからのお問い合わせ先>

京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会) TEL: 075-213-1000、E-mail: pr@kac.or.jp、担当: 福島